

令和6年度 学校評価(分掌用)  
武蔵越生高等学校

令和7年5月16日

目指す学校像	グローバル化した国際社会のなかで良き形成者・リーダーとして心豊かで実践力のある人間を育成する学校。	学校関係者評価は、PTA 役員、後援会役員、同窓会役員、学園評議員からなる学校関係者評価委員会による。
本年度の重点目標	<p>1 学力の向上と進路の保障 学ぶことの大切さ、理解することの喜びを体得させ、生徒の実態にあった指導を研究し、魅力的で実力のある授業の展開を図る。</p> <p>2 礼儀正しい態度の養成 社会の中の一員としての自覚を持たせ、自分を律していくことで自他の心を大事にする必要性をわからせる。</p> <p>3 クラブ活動の育成強化 生徒の特技や情操を高め、心身の健全な成長を図ると共に、愛校心を育てるためクラブ活動を重視し育成強化していく。</p> <p>4 地域との連携強化 地域の文化の砦としての信頼を得ると共に、積極的に交流を深め、地域の活性化の一躍を担う。</p>	

年度当初				中間評価 (11月)	最終評価 (3月)			
番号	評価項目	現状	具体的な方策	評価指標	進行状況等	経過・達成状況	次年度への課題	学校関係者評価
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学力の向上</li> <li>●学習環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全コースで学力向上が急務である。クラス内生徒の学力幅が広い。家庭学習の時間が極めて少ない。学力や意欲に応じた課題の出し方に工夫の余地ある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業の充実→教科研修や教科会で模試の分析、対策実施。</li> <li>●家庭学習の定着→宿題、スタサプ、デジタル教材等の活用。</li> <li>●赤点者の減少と評定値の適正化→低学力層対象の定期試験前講座等実施。</li> <li>●学力 up、検定取得に繋がる進学基礎講座の設定。</li> <li>●教科主任、コース委員長連絡会の充実。</li> <li>●生徒や保護者との面談実施。</li> <li>●学校研修や教員研修で共通認識を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教科会が活発に行われたか。</li> <li>●共通問題を実施し、学期ごとの赤点者率15%以内、学年2%以内を目標とする。</li> <li>●実力テストCランク以上</li> <li>S特、選I 河合・進研模試、偏差値50以上、上位層70以上</li> <li>●講座受講者アンケート実施、希望講座開講。</li> <li>●模試の分析と対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主要5科については毎週教科会を実施できている。</li> <li>●赤点 1 学期 1年 32.8%、2 年生 24.8%、3 年生 22.5% 昨年同時期より微増</li> <li>●S特:進研2年理系、3年文系で平均偏差値50以上達成。偏差値 70 以上は2年英・数で1名ずつ。選I :該当なし。</li> <li>●講座受講者アンケート実施 苦手意識克服。理解度興味を深めた。家庭学習の時間の改善につながる。</li> <li>●模試結果はS特、選I コース委員会で共有する。対策は先生個人に任せる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教科会は毎週実施できた。</li> <li>●学期ごとの赤点者数 28.9%(2学期まで) 0%(学年) 赤点者数については上昇傾向</li> <li>●実力診断テスト(GTZ:学習到達ゾーン) 選II・アスリート Cランク:Dランク=6:4</li> <li>進研模試・河合模試 指標目標 S特 1.2年生達成</li> <li>選I 2年生GSコースで達成</li> <li>●講座受講者アンケートの満足度高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の達成目標を意識しつつ、学期の赤点者数を減らす為に事前指導の強化を図りたい。</li> <li>模試対策について各教科と連携しつつ目標達成にむけた過去問演習を強化していきたい。</li> <li>講座については知的好奇心を刺激する講座の検討しより活性化させたい。</li> </ul>	B
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●英語検定・</li> <li>●ICT教材</li> <li>●校内英語コンテスト</li> <li>●夏季マレーシア研修</li> <li>●イングリッシュキャンプ</li> <li>●交流イベント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●昨年度一斉受検では選II・アス3級27%、S特・選I準2級46.5%、2級9.9%</li> <li>●オンライン通年で実施。Weblio Studyを導入</li> <li>●全校一斉実施のコンテストを企画</li> <li>●本校専用海外研修を企画</li> <li>●S特・選I +希望者でGSP実施</li> <li>●S特1年及び希望者で校内イングリッシュキャンプを実施予定</li> <li>●ミスインターナショナル交流会実施、TGG 実施予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●英検ウイークの設定。</li> <li>●オンライン英会話選I1.2年、S特1年で導入。</li> <li>●Weblio Studyを活用</li> <li>●選Iでスピーチコンテストの実施。全校統一コンテストを開催。</li> <li>●保護者への説明を実施しプログラムの内容を詰めていく。</li> <li>●TGG 研修は事前事後指導を充実させ成果を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2学期一斉受験の英検合格率 選抜II・アスリート3級50%、S特・選抜I 2級20%、準2級50%</li> <li>●オンライン英会話を計画通りに活用できたか。WSの活用が上がったか。</li> <li>●各コンテストが実施できたか。生徒の学習意欲に繋がられたか。</li> <li>●研修が実施できたか。</li> <li>●参加者の満足度、学習意欲の向上に繋がられたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●選抜II3級17.6%。(1次)1年20.7%、2年29.6%、30%まで増加の可能性。S特・選I準2級32.8%2級8.3%2級9%(3人)まで</li> <li>●オンライン英会話 計画通りに進行。Weblio Sturdy 本校から3名受賞。</li> <li>●選抜Iコース2年生でスピーチコンテストを実施した。</li> <li>●夏季マレーシア研修を実施。13名参加。参加者の満足度も高く、けやき祭、学校説明会で発表できた。 選抜IコースのTOKYO GLOBAL GATEWAY 研修を実施計画通り実施できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●英検取得率 選抜II・アスリート3級 23.8%(27.2%)</li> <li>選抜I・S特進準2級 37.2%(46.5%)</li> <li>2級 9.1%(11.1%)</li> <li>●12月 イングリッシュキャンプ実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の反省を踏まえ更に内容をブラッシュアップしより多くの生徒が参加できる行事を目指す。英検のとりまとめは教科管轄として英語科に移行。1.2年生の取得率がまだ低いので一斉受験以外での受験者を増やす方策を立てる。</li> </ul>	C
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第一志望合格のための進学指導</li> <li>●学習到達ゾーン(GTZ)の向上</li> <li>●志望校選択にむけた情報収集の機会提供</li> <li>●将来を自分ごととして考えられる生徒育成のためのキャリア教育の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総合型選抜・学校推薦型選抜の受験対策の充実と一般選抜への対策の充実を図る。</li> <li>●GTZを基準とした指導に切り替え学力向上を目指すための教科指導の充実が必要。また、生徒の意識改革も必要。</li> <li>●実体験を通しての学び(情報収集)の機会の充実を図るべき。</li> <li>●進学とキャリアを結び付けて考える必要性が十分に認知されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路指導部面談を実施。志望先に合わせた指導を行う。</li> <li>●①模試の事前・事後学習強化</li> <li>②学校全体のGTZ改善のための情報共有</li> <li>●①適性診断を実施し、自身の興味関心の理解、それに合った分野の学校、企業への訪問</li> <li>●進学が自身のキャリアについてどのような位置付けか理解し、自身の働き方や生き方を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●①受験生の行動面での変化</li> <li>②入試での合格率の変化</li> <li>③進学者の第一志望の達成率</li> <li>●GTZ 推移が改善されているか</li> <li>また、GTZ改善のための情報共有がなされているか</li> <li>●個別最適な進路情報の提供ができているか</li> <li>●将来を見据えた進学を意識して適切な文理選択ができているか。</li> <li>進学の志望理由が、社会貢献の意識を持ち、働き方や生き方と紐づいているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3年生の大学・短大希望者が88%。3年連続80%を超える見込み。受験プランを早期に定め、第一志望合格のために積極的に学習に取り組む生徒が増えつつある。指定校推薦以外の入試にも積極的に挑もうとする意識作りができてきた。部活引退後GTZの向上が見られる生徒もいる。生徒の進路選択のミスマッチを防ぐため、3年生全員と進路指導部面談を今年度は2回実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大学・短大進学者割合89%。大東亜帝国レベルに該当する合格者数が学年生徒数の半数を上回り合格する大学の水準が上昇傾向にある。又、国公立、大学校への合格者が浪人生を含め13名になり10数年ぶりに2桁合格者を出すことができた。</li> <li>●1月の全国模試ではGTZ(学習到達ゾーン)で最高水準のSランクの成績をとる生徒が各学年に散見されるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びへの意欲を更に向上させるべく、進路実現に向けた過程の中で様々な挑戦を促したい。生徒が進んで進路に対する意識を上げられる環境づくりに努めたい。</li> </ul>	B

4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●変化していく時代に対しての規則の変更。特性を持つ生徒への対応、合理的配慮の正しい捉え方を考えていく。</li> <li>●いじめ防止及び撲滅に向けての活動。</li> <li>●携帯電話やChromebook (SNS関連・携帯依存他)の問題についての撲滅に向けての活動。</li> <li>●指導案件になる前の指導の徹底。指導生徒の形だけではない反省。生徒指導室、教育相談部との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●どの学年にも問題を抱えた生徒が多く存在している。1人ひとり問題が違っているので注意深く見守っていく。</li> <li>●人間関係のトラブルから転校してしまう生徒も見られた。大きないじめは起きていないが、注意深く見ていく必要がある。早い段階で教員の介入が必要。</li> <li>●昨年度はSNS関連での指導は2件で、内容は、誹謗中傷や不適切画像の投稿だった。ただし、見えてない部分でも多くの問題が存在しており気を抜けない状況。また、携帯に依存している生徒が数多く存在している。</li> <li>●複雑な指導案件が増えてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●必要に応じて規則の見直しを進めていきたい。担任・生徒指導部・教育相談部・学年・クラブ顧問との連携を強め、気付いたことは共有をしていきたい。</li> <li>●新アンケートの『あなたについて』の実施と利用。担任一人での対応ではなく、生徒指導部・教育相談部・学年も連携して、時間をかけて適切な対応をしている。</li> <li>●携帯・Chromebookを使用する際の注意喚起の徹底。</li> <li>●事件の早期発見を行うため、先生方と連絡や、教育相談部との連携を深めていく。指導室に入った場合は、必ずカウンセラー(臨床心理士)との面談を行い、事後指導を今後は行っていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●規則変更が必要かどうかを指導部中心に判断することができたか。様々なトラブルが出てくる前、起きてしまった後の対応が、しっかりできているか</li> <li>●新アンケートの『あなたについて』が正しく活用できたか。加害者だけではなく、被害者や周りの生徒、保護者も含め、適切な対応ができたか。</li> <li>●SNS関連のトラブルがおきなかったか。「指導部たより」等での注意喚起を行っていたか。</li> <li>●規律正しい活動を行っているか。</li> <li>●指導案件の減少ができたか。指導生徒がしっかりと理解・納得し、指導期間を終えることができるか。生徒相談室・教育相談部としっかり連携できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在頭髪についての規則見直しを検討中。時代の流れや生徒により良い規則を決めていきたい。</li> <li>●今年度SNS関連で大きな問題が発生した。モラル、マナーの部分で育てていく必要性を感じる。</li> <li>●人間関係に関する問題を教員が連携して未然に防ぐことができた。</li> <li>●アンケートではいじめ案件等様々な情報が記載されている。担任、学年、教育相談部が連携して対応にあたっている。今後もチームとしての対応力が求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身嗜みチェック月1回実施。</li> <li>●SNS安全教室、身嗜み講座、薬物に係わる講義、消費者セミナー実施。</li> <li>●「あなたについてのアンケート」年5回実施。アンケートを活用して未然に問題を防げた今後も教育相談部と連携して子供たちが安心して学校生活を送ることができるように努めたい。</li> <li>●身嗜みについて一部を見直した。</li> <li>●SNSに係わるトラブルについては顕在化していない事案もある。</li> <li>●指導案件の数は例年と変わらない数字となっている。案件の背景等画一的な指導が難しくなってきた。</li> </ul>	<p>身嗜み規定、生徒指導規定について一部見直しを検討する。</p> <p>SNS活用に関するマナー、モラルについての啓蒙活動を強化する。</p>	B
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●礼儀正しい態度の養成</li> <li>●クラブ活動の育成強化</li> <li>●生徒の心身を鍛え、特技・特性を伸ばす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●関東大会に出場する部活動が増えたが全国大会の出場はまだ少ない。文化部のクラブ数が増えたこともあり、生徒の活動は多様化している。</li> <li>●体育祭、強歩大会での保護者、地域の方々との交流は貴重な機会である。一部の部活動で環境美化や地域交流を行っている。</li> <li>●学校行事に、積極的に取り組むことができている。</li> <li>●部室の清掃、部日誌の活用で自治活動の推進が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒会、各委員会との連携と、生徒への支援、協力体制を図る。</li> <li>●部室点検、部活動日誌の定期点検。</li> <li>●クラブ顧問会を開会による意識の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●部活動加入率</li> <li>●部活動の実績</li> <li>●部日誌の有効活用</li> <li>●学校行事の実施状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●部活動加入率75%</li> <li>●全国大会出場 柔道、チアリーダー、弓道、和太鼓 関東大会出場 陸上、柔道、チアリーダー、弓道 吹奏楽部 ディズニーシーにて演奏 書道部 展覧会入賞</li> <li>●部日誌定期点検</li> <li>●運動部集会の実施</li> <li>●体育祭:天候に応じプログラムを一部変更して実施。 けやき祭:予定通り実施 強歩大会:天候不良につき中止。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(全国大会出場)柔道、チアリーダー、弓道、和太鼓、卓球、書道(関東大会出場)陸上、柔道、チアリーダー、弓道(東京ディズニーランド演奏)吹奏楽(県大会上位)サッカー3位バスケットボール5位。</li> </ul>	<p>運動部顧問会の実施。心身ともに成長する魅力ある部活動作りを追求する。部員増を目指し発信力も強化していきたい。</p>	B
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>●開かれた学校を目指し、地域・保護者と連携する。</li> <li>●定員確保による学校評価。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●PTA、後援会、同窓会の連携により、学校行事及び教育活動の運営に更なる成果を求める。</li> <li>●380名の定員に届かない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●PTA・後援会・同窓会の活動を通じ魅力ある学校作りを推進。</li> <li>●生徒募集関係イベントの質の向上。</li> <li>●SNSでの露出度増</li> <li>●学校、部活動の公式SNSをまとめて見られるQRを作成し、中学生に配布する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校評価委員会、PTA、後援会からの評価。</li> <li>●方策が実行でき募集定員を集められたか。</li> <li>●各イベントの集客数</li> <li>●SNS閲覧者数・登録者数</li> <li>●中学や塾でのイベントの参加者数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校評価委員会(5/18・11/16)実施</li> <li>●PTA・後援会研修旅行(軽井沢方面)を実施できた。後援会奉仕活動も実施していただいている。年間予定行事も順調に進んでいる。</li> <li>●生徒募集関係:イベント参加人数、相談状況とも例年並みを記録している。</li> <li>●SNSの閲覧者数 X:毎回1000。動画視聴回数10000回。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SNSを活用した発信力を強化したことでInstagramの閲覧回数が増えた。</li> <li>●イベントでは生徒の露出を増やし「オール武蔵越生」で臨んだ。イベント参加者数、単願受験者数ともに前年度から増やした。一方公立の倍率低下から歩留まり率が低下した。</li> </ul>	<p>15歳人口減、授業料無償化に伴い更に公立高校倍率低下が予測される中単願受験者増を目指す方策は急務である。説明会をはじめとするイベントでも質の向上を目指す。中学・学習塾との関係値を上げる方策を検討する。</p>	B

達成度 A:ほぼ達成(80%) B:概ね達成(60%程度) C:変化の兆し(40%前後) D:まだ不十分(40%未満)